

業務改善の実施状況報告

組織名	農村振興局 整備部 土地改良企画課	連絡先	03-3501-3743
所管する業務の概要	国営土地改良事業の法手続、国営及び都道府県営土地改良事業の事後評価、土地改良区等の指導監督、土地改良事業に係る融資等の土地改良制度に関する業務、交換分合の指導及び助成並びに食料安定供給特別会計国営土地改良事業勘定の経理等に関する業務		

1. 職員の基本的な心構え・行動について	
<ul style="list-style-type: none"> これまでの取組実績及び現在実施している取組 	<ul style="list-style-type: none"> 今後の課題とその改善策
<ul style="list-style-type: none"> ビジョン・ステートメントをより実効あるものにするため、課としての具体的な行動の規範「土地改良企画課 7つの誓い」を策定して課内に掲出する等し、業務に取り組む上での心構えとした。 課内掲示板に、省改革関連情報（ビジョン・ステートメント、政策外交員FAQ、ヒヤリ・ハット事例、他）、業務に必要な各種情報等を掲示するとともに、各職員にメール送信するなど、情報の共有・意識の醸成を図っている。さらに、課内会議において各班のケアレスミス事例の報告を行い、発生した要因やこれに対する改善策等を話し合うことで、リスク管理の意識の向上を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> 「土地改良企画課 7つの誓い」の策定作業を通じて、ビジョン・ステートメントを自らの業務に当てはめて行動する意識の課員への啓発は図られたが、この意識の醸成を継続させるため、「土地改良企画課 7つの誓い」の実践に向けた取組の中で優秀なものを選定する等、具体的な展開活動を進めていく。 ケアレスミスの抑制を図るために各班において取組んだ改善策を課内で共有することにより、リスク管理の意識の更なる向上に努める。
<p>電話での問い合わせが多いことから、ダイヤルイン電話設置箇所に簡単な応答要領及び連絡ミスを防ぐための伝言メモ用紙を備え付けた。</p>	<p>問い合わせ対応等の接遇面については、接遇研修や応答要領、伝言メモ用紙等の活用により、職員の意識の維持及びその向上が図られている。</p>
<p>国民からの問い合わせ等があった際の対応方策、情報共有等について、課独自の問い合わせマニュアルを策定し運用している。</p>	<p>問い合わせマニュアルについては、本省と地方農政局との間の効率的な情報共有の在り方も含めてその改善方法を検討すると共に、その運用状況を随時検証し、必要に応じて同マニュアルの修正を行う。</p>

2. 国民視点に立った業務の遂行について	
・これまでの取組実績及び現在実施している取組	・今後の課題とその改善策
<p>サービス提供のパートナーである土地改良区関係者等との会合、意見交換の場で制度運用の実態・問題点等について意見交換に努めており、これらを通じ国民のニーズ把握に努めている。</p>	<p>現在のホームページ掲載内容は業務の一部にとどまっているため、関係者のみならず国民の理解を促進させるため、課の業務全体について説明するホームページを開設予定である。</p>
<p>地方農政局課長会議等を通じ、地方農政局を通じた情報収集、情報の共有化を図っている。</p>	<p>引き続き、情報の共有化・連携をさらに強化していく。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事故米問題等を踏まえ、土地改良区検査及び公益法人の検査について、無通告検査を実施している。 ・ 土地改良区検査については、検査体制を充実させる等、検査の効率的かつ的確な実施を図った。 	<p>引き続き、研修内容の見直しや検査マニュアル作成の検討を行い、検査の充実と検査官の資質の向上を図ることとする。</p>
<p>通知集や書式例の最新版・改訂版の作成等により、当課で実施している業務（許認可、国家試験、検査等）について、情報・業務のチェック体制等の整備を行った。</p>	<p>前例主義にとらわれず、常に問題意識を持って対応することを念頭に、内部牽制体制の充実を図ると共に、必要に応じてチェック体制等の見直しを検討する。</p>

3. 業務を適切かつ円滑に遂行するための職場環境づくりについて	
・これまでの取組実績及び現在実施している取組	・今後の課題とその改善策
<p>課内における情報共有の観点等から、毎週課内会議を行うとともに、各種の情報については、課の掲示板を設け情報を周知している。また、機会を捉えて課長と職員の話合いの場を設定している。</p>	<p>情報量が多く、メールや掲示板での電子媒体による周知には限界があるため、課内会議の充実及び案件に応じた臨機応変な課内打合せの開催等により、効率的な情報の共有に努める。</p>
<p>人材育成手法研修参加者から部下を有する補佐以上を対象に、職場における人材育成・指導方法、職場の一体感の醸成、職場の活性化等について研修内容を周知するとともに、研修内容の実践（オフサイトミーティング）を行った。</p>	<p>オフサイトミーティング等の実践は一部の班にとどまっていることから、班毎に機会を捉えて実践していく等、研修内容の定期的な実践に取り組む。</p>